

大津市議会の広聴活動

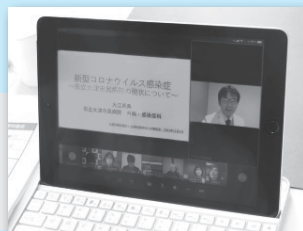
コロナ禍でも工夫を凝らして 意見交換会を実施

大津市医師会

オンライン会議システムを活用し 新型コロナウイルス感染予防について意見交換

これまで市民に開かれた市議会を目指して各種団体との意見交換会を積極的に開催してきました。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、意見交換会の開催を取りやめましたが、令和3年度は感染状況に鑑み、従来のように参加者が一堂に会する方式を取らず、初めてオンラインで開催しました。



＼ニュース映像はここから／



はじめに、「新型コロナウイルス感染症一市立大津市民病院の現状」と題して市民病院の感染症科診療部長の大江秀典先生から基調講演をいただき、これを踏まえてオンライン上で6班に分かれて医師と議員が活発に意見交換を行いました。その後、議論の内容を共有するため各班から発表があり、課題について相互理解を深めました。

監査委員

前期監査結果の報告とともに 市政について意見交換

平成30年度に議員選出の監査委員を廃止して以降、議会と監査委員の情報共有を図るため、監査の結果報告と意見交換を定期的実施しています。

従前は全議員が出席する全員協議会として開催してきましたが、新型コロナ対策と、より活発な意見交換の機会を確保するため、令和3年度は議員15人と監査委員による意見交換会として実施しました。



はじめに、前期の監査結果の指摘事項について、議員と監査委員の間で質疑応答を行い、指摘のあった事務に関し、さまざまな議論を行いました。

続く意見交換では、指定管理者制度や未利用地などに関して、制度の在り方や効果的な活用などについて意見を述べ合い、議会、監査委員が有する監視機能やチェック機能といった、それぞれの役割を一層果たしていくための方策を探りました。

